

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名		市民総参加型スポーツイベント実施事業		担当部署	教育委員会 体育振興室	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市体育振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 22年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		スポーツ・レクリエーション				
施策	3	生涯スポーツの振興				
基本事業	2	スポーツ活動の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 5月最終水曜日午前0時から午後9時までに鳴門市内にいる人が参加対象であり、15分間以上継続して運動やスポーツ等の身体活動(運動)を行うと参加となる。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	心身のリフレッシュを図り、健康づくりを推進するため、いつでも、どこでも誰でも、手軽で気軽に取り組めるスポーツの機会をつくる。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	チャレンジデー開催決定後は、5月25日のチャレンジデー開催に向け、各種団体への参加依頼等を早期に開始するなど、チャレンジデーの実施に向けた取り組みを進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		参加率	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	5月25日のチャレンジデー開催に向け、多くの市民の皆さまに参加していただき、目標を達成するために、各団体にイベント開催依頼及びPR活動等に取り組み、当日はゆるキャラと歩こうや第九体操などの様々なイベントを開催した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 参加者数	30,295	35,142	37,000	37,000	36,000	人
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	参加率	49.9	58.5	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		97.5	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	300	300
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	300	300
		決算額	0	0	0	0	300	300
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費	総事業費		
			1.0	0.0	7,133	7,433		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：市民総参加型スポーツイベント実施事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	300	300	300	300	300
	うち一般財源	300	300	300	300	300
	人件費	6,859	7,133	7,133	7,133	7,133
	総事業費	7,159	7,433	7,433	7,433	7,433

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		当日は市内各地でイベントが、様々な団体により実施された。
	効率性	B:概ね効率的だった		各イベント実施団体によるイベント実施により、職員の事務量は減少した。
②成果に対する評価	指標名	参加率		28年度については参加率が昨年度より上昇し、目標に近づいた。
	目標	60	%	
	実績	58.5	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		各団体への呼びかけ等、積極的に行い、参加率が昨年度より上昇し、目標に近づいた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事務量の軽減に努めているが、担当の負担は重い。 目標の参加率達成に向け、チャレンジデー参加への呼びかけを強めていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	チャレンジデーの開催について早めのPR活動を行うとともに、事業所への参加依頼や量販店前での参加報告の受付など、参加報告方法を見直し、チャレンジデーの参加者数の確保に努め、参加率の向上に取り組む。			
	H30年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する			